

ト ラ フ ズ ク

Asio otus



分類	フクロウ目フクロウ科												
特徴	橙色の顔と目、頭上に耳状の羽毛（羽角）を持つフクロウ類。ユーラシアと北米大陸の温帯から亜寒帯にかけて広く繁殖し、冬期は南へ移動する。日本でも中部地方以北で繁殖し、積雪が多くなると南の雪が少ない地方へと移動し、人目につきにくい常緑樹などをねぐらにして越冬する。トラフズクの「トラフ」は体の模様が虎斑になっていること、「ズク」は兎の脚に本種の脚が似ていることから名付けられている。												
生活	繁殖期には平地から山地の林に棲息し、カラスやタカ類の古巣を利用したり稀に地上にも営巣して、4～6卵を産む。ネズミなどの哺乳類のほか、鳥類なども餌とする。繁殖期の始まる頃になるとウーウーという声を出す、他のフクロウ類ほど多くは鳴かない。秋冬はほとんど鳴かないが、稀にギャツというような声を出すこともある。												
声	春の夜間、「ウォウォ」と低い声で鳴く。ヨーロッパでの鳥声テープでは、「ウォーウォー」と鳴き続けるほか「グェグェツ」とも鳴く。メスは「ミャーミャー」というネコのような声や「プォー」と聞かれる声で鳴く。なお、幼鳥は「ピーー」と鳴くという。												
見分け方	大きさや体色のよく似たコミミズクは、顔の色が黒っぽく目の色が金色であることで見分けられる。また、トラフズクは樹上で休むのに対し、コミミズクは地上で休む。												
時期	暖地（月）	1	2	3	4	5	—	—	—	—	10	11	12
	寒地（月）	—	—	—	4	5	6	7	8	9	—	—	—
その他	全長（L）38cm 翼開長（W）95cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													